



# 健康事業団だより



## 胸部デジタルX線検診車「宝くじ号」が配車されました。

一般財団法人日本宝くじ協会が行う「公益法人助成事業(社会貢献広報事業)への助成」を受けて、公益財団法人予防医学事業中央会で整備した胸部デジタルX線検診車が長崎県支部(公益財団法人長崎県健康事業団)に貸与されました。平成29年1月11日、予防医学事業中央会専務理事をはじめ多くの関係者の皆さまに出席していただき、納車式および配車式が行われました。

この「宝くじ号」は、高齢者や身体の不自由な方まで対応できる専用リフト、視聴覚障害者へのサポート機能を装備したほか、最新デジタルX線装置を搭載し、X線被ばく量の低減化を図ることができ、受診者に優しい検診を目指します。また、離島や山間部など地域特性を踏まえ、コンパクトな車両となっています。

これから県内を巡回し、皆さまの健康づくりと疾病の早期発見のお手伝いができると思います。



高齢者・身障者対応リフト



平成 29 年 2 月 21 日 長崎県医師会館において、長崎県がん検診担当者会議と長崎県健康事業団健診事業協議会を開催しました。県内市町が実施するがん検診の課題についての活発な意見交換やがん検診についての講演などが行われました。



# インフルエンザの流行が警報レベルです!!!

平成29年第6週（2/6～2/12）時点で、長崎県の定点あたりのインフルエンザ患者報告数（平均患者数）が「31.94」となり、警報レベルの「30.0」を上回りました。今後、さらに流行拡大が予想されますので、事業所の皆さまやご家族も、インフルエンザ予防対策にご協力をお願いします。

## 「かからない」



- ◇外出後は**手洗い**をしましょう。
- ◇インフルエンザの**ワクチン接種**は発症予防・重症化防止に有効なことから、希望される方は早めに接種しましょう。（効果の出現までに2週間程度を要します）
- ◇体力が低下しないように**十分な栄養と休養**をとりましょう。
- ◇室内を**乾燥させない**ようにし、また、**定期的に換気**を行いましょう。

## 「うつさない」



**咳エチケット**を心がける

- ◆咳やくしゃみが続いたら、他の人にうつさないためにマスクを着用する。  
マスクを持っていない場合は、ハンカチ、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔を背けて、1m以上離れる。
- ◆鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗う。
- ◆咳をしている人にマスクの着用をお願いする。

## 「早めに受診」



- ◎インフルエンザにかかったと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。
- ◎無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。
- 💡もっと詳しく知りたい方は、下記を検索してください💡

★長崎県「季節性インフルエンザ」

<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukusi-hoken/kansensho/kansensho/influ/>

★厚生労働省「今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/>

今日も、長崎県内を走っています！



**公益財団法人 長崎県健康事業団**

〒859-0401 諫早市多良見町化屋 986-3

TEL 0957-43-7131（代表） FAX 0957-43-7139

<http://www.npmhc.jp>